

高気圧酸素ルーム

ルームタイプなので閉所恐怖症の方でMRI機器・エレベーターなどが利用できない方も使用することができます。（一度ご相談ください。）



「高気圧酸素療法」

「高気圧酸素療法」とは？

「高気圧酸素療法」は、医療の世界では**40年以上の歴史**を誇ります。
人工的に高い気圧環境をつくり、その中で患者に高濃度の酸素を吸収させて血液中に溶解する**酸素量を増加**させ、新陳代謝や身体機能を向上させる**特殊な治療法**で、現在、国内約1000ヶ所、全世界では、約1万台以上の医療施設で使用されております。

近年では**健康・美容法**としても注目を浴びており、イングランド代表サッカー選手も**ケガの回復促進**のために利用したと話題になるなど、ハリウッドスターやタレント、プロスポーツ選手の間で、とても注目を浴びています。

「高気圧酸素療法」の仕組み

私たちの体には60兆もの細胞が生きており、その細胞のひとつでひとつで「栄養」と「酸素」を取り入れ生きていくために必要なエネルギーとして消費されています。

普通の大気圧下の呼吸で取る酸素は、体に一定量(ヘモグロビン量)以上の酸素を運ぶことが出来ません。対して「**ヘンリーの法則**」を用いた高気圧環境下では「**溶解型酸素**」が気圧に比例して血液に溶け込み酸素を細胞の隅々まで行き渡らせます。その結果、細胞の**新陳代謝を促し、身体機能が向上すること**で、**脳の活性化、健康増進、美容促進、老化防止**に繋がります。

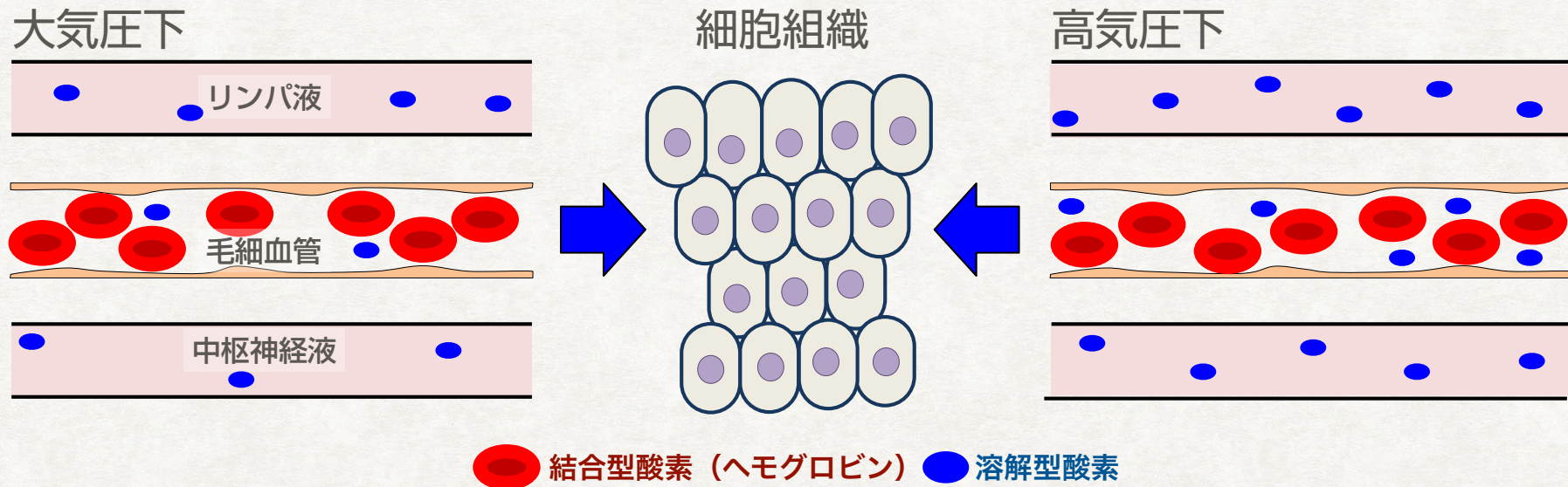
高気圧酸素とは

結合型酸素

- ・ 血液中のヘモグロビンと結びつく
- ・ ヘモグロビン量より多く運べない
- ・ 分子が大きく毛細血管を通りにくい
(全身の血管の90%が毛細血管)
- ・ 体内酸素の99%が結合型酸素

溶解型酸素

- ・ 通常の呼吸だけでは非常に少ない
(酸素吸入だけでは増えません)
- ・ 分子が小さいので血液・体液に直接溶け込み毛細血管を通りやすい
- ・ ヘモグロビン量に依存しない



高気圧環境によって溶解型酸素を増やし身体の隅々まで酸素を供給し細胞を活性化するのが高気圧酸素です。(ヘンリーの法則を応用)

※ヘンリーの法則・・・「気体が液体に溶解する量は、その気体の分圧に比例する」という理論

期待される効果

レオロジー効果

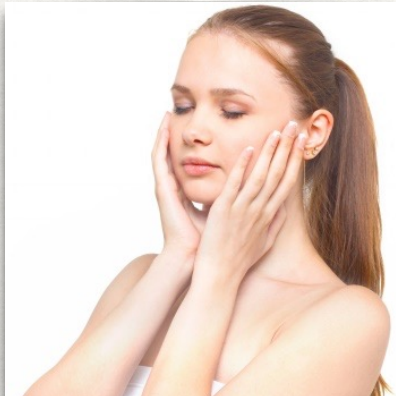
骨格の矯正が美しさへの第1歩

身体の歪みは、健康面への影響を及ぼしかねません。**施術後**に高気圧環境下になることで、全身に均等な力（1.3気圧＝水深3mの圧力）がかかり、筋肉のバランスが整います。

美容効果

アンチエイジング、美肌

不規則な生活やストレス、無理な**ダイエット**など生活習慣によってお肌の状態は左右されます。実は、肌のハリを保つ**コラーゲン**は、合成時に**大量の酸素が必要**なんです。また、酸素は、老廃物や疲労物質の排出を促します。



ケガの回復を早める効果

ケガの回復が遅い、早く治したい

スポーツをしている人こそ、ケガは1日でも早く治したいもの。ケガの回復が遅いのも、**酸素不足が原因**かも…。患部の細胞に多くの酸素を供給することで**新陳代謝を高め**ケガの早期回復を！

ダイエット効果

身体の中から美しく、スリムに

最近、ウエストラインが気になる。体脂肪を減らしたい。いろいろな方法をためしたが、効果が上がらない…。それは、酸素不足による不完全燃焼が原因かもしれません。**美容と健康**のためにも良質な酸素補給をしましょう。



疲労回復効果

ストレスケア、ストレスに強い身体を最近、疲れ気味。眠りが浅く、睡眠不足。ストレスを強く感じる。そんな方は快適な毎日を過ごすために、早めにケアしましょう。日々のコンディション維持にとっても効果的です。



高気圧酸素によるアンチエイジング効果

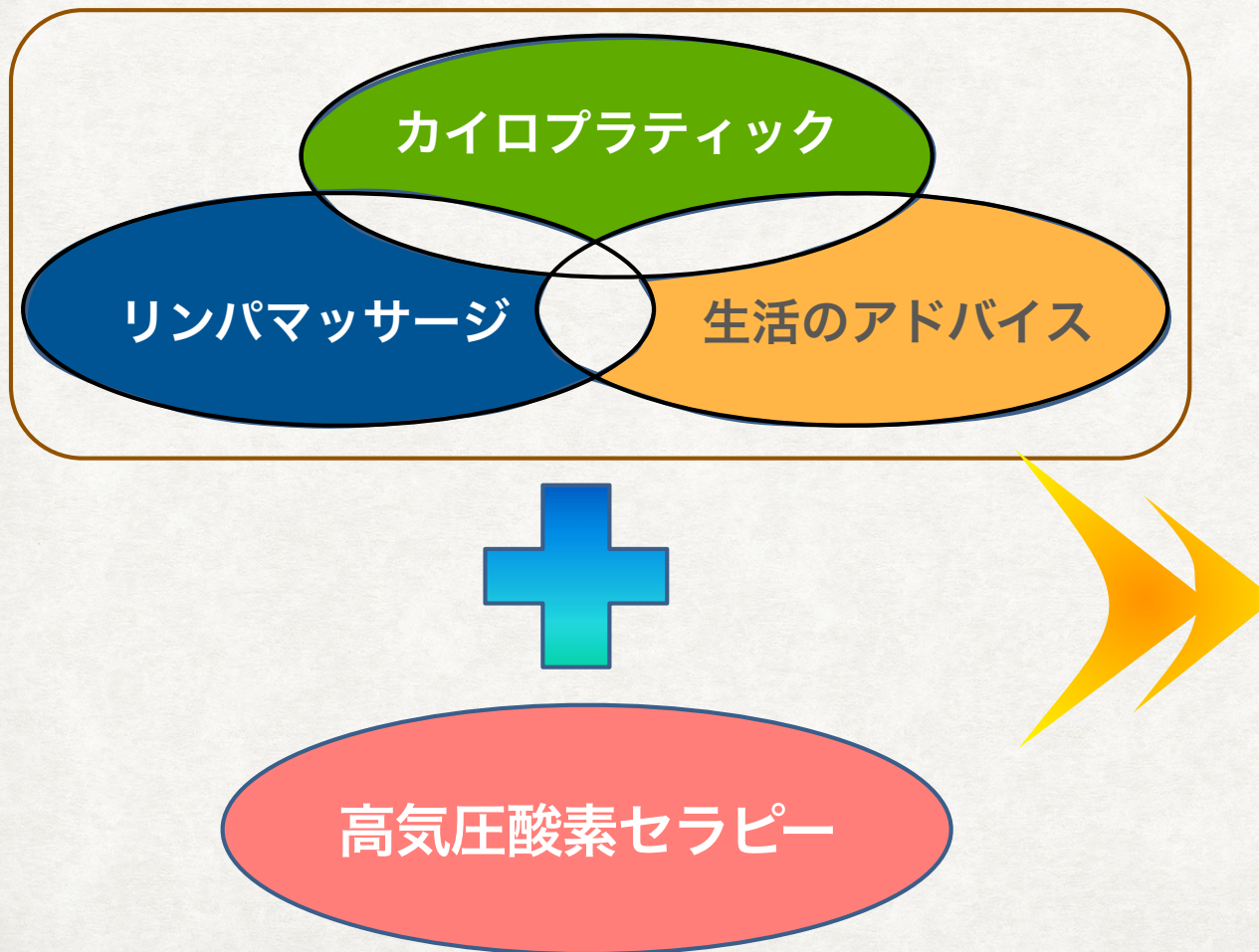
普段から気になることはなんですか？下記の症状は**加齢が原因**の一つと言われています。
年齢とともに衰えていく気力・体力・回復力。美しく健康でいるために適度な運動・バランスの取れた食事・規則正しい生活習慣とともに**酸素を十分に取る**ことが必要です。

- お肌のくすみ、タルミ
- むくみが取れない
- 痩せにくい
- 体型が気になる
- 冷え性
- 疲れが取れない
- 集中力がない
- イライラしやすい
- ストレスを強く感じる
- 病気になりやすい
- 二日酔いが抜けにくい
- 睡眠不足



美容と健康

現代の様々な環境によるストレス、加齢による衰え、生活習慣病への不安など美容と健康への関心は、年々増加しています。当院は、施術による骨格矯正を主軸としておりますが、それに付け加え生活のアドバイス、高気圧酸素により、機能回復の側面支援をいたします。



禁忌事項

 次のような医用電気機器をお使いの方は、ご使用にならないでください。

- ペースメーカー等の体内埋め込み型医用電気機器
- 人工心肺等の生命維持用の医用電気機器
- 心電計等の装着型の医用電気機器
- 医用電気機器の故障や、身体に重大な被害を招く恐れがあります。

 次のような方は、必ず医師とご相談の上、ご使用ください。

- 呼吸器系疾患、肺気腫、慢性閉塞性疾患のある方
- 急性疾患の方
- 腫瘍のある方
- 感染症疾患のある方
- 耳鼻科で治療を受けている方
- 妊娠している方
- 心臓疾患のある方
- 熱の高い方
- 過呼吸発作の経験のある方

 次のような方は、弊社職員にご相談ください。

- 風邪や鼻炎で鼻が詰まっている方
- 乳幼児の方
- 閉所恐怖症の方（弊社はルームタイプ）
（MR I 機器が使用できない方の使用実績あり）
- 耳抜きができない方
- 妊娠の可能性がある方
- 上記以外の持病があり、治療中の方